

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 5
2008. 7月号



『協働のまちづくり』への注目が一段と集まっています!!

日向市でも、『協働のまちづくり』に注目が集まっています。今年3月に開催された「協働のまちづくり推進のための市民講座」には、2日間で150名余りの市民が参加し、『日向市版・協働のまちづくり』について学びました。また、平成20年度市民まちづくり支援事業（上半期）では、4件の新規事業が提案されるなど、少しずつですが、新たな取組も生まれています。（写真は、支援事業新規提案事業である『牧水なりぎり旅人』での一コマ）



- P 2～4 特集／市民まちづくり支援事業**
○平成19年度実績報告 ○平成20年度上半期審査結果公表
- P 5 協働へのアプローチ／支援事業新規提案団体紹介**
- P 6 「これが私たちの協働です！」／『建和会青年部』紹介**
- P 7 市民協働課掲示板／『ひまわり日記』**
- P 8 元気印！／新NPO法人誕生!!『リバーシブル日向』**

平成19年度の支援事業は、「地域づくり系事業」の新設や10事業の新規事業誕生（1事業は中止）など、大きく飛躍する1年となりました！

下半期採択事業一覧（8 提案事業中 8 事業採択）

部門	No.	事業名	総事業費 (円)	補助金 確定額(円)	事業内容	参加者等 人数(人)	事業の効果
イベント系及びその他の事業	1	第14回 日向ひよっこマラソンIN日向	7,481,629	3,092,000	①ハーフマラソン、2キロ、5キロ ②5キロひよっここの部	1,964	◆参加者、応援者、スタッフの交流、絆の結束 ◆観光スポットのPR ◆健康維持、増進
	2	欽ちゃん球団ゴールデングールズ日向キャン2008受入事業	7,372,222	3,303,000	①市民歓迎会、凱旋パレード ②キャンプ、欽トレ ③交流戦	16,000	◆日向市特産品のPR ◆報道機関を通じた情報発信 ◆経済効果
	3	第1回 日向市長杯のりカップinお倉ヶ浜	2,216,117	546,000	①サーフィンコンテスト(7クラス) ②ビーチイベント(5イベント) ③おもてなし(2部門)	2,250	◆お倉ヶ浜海岸のPR ◆サーフィンを通じての観光振興の発展 ◆サーファーと市民との交流
	4	第19回 日向はまぐりまつり	7,277,996	4,794,000	①前夜祭 ②囲碁大会 ③市内観光地めぐり	850	◆日向市の情報発信、経済効果 ◆特産品使用によるPR効果 ◆観光面におけるPR効果
	5	日向アートフェスティバル	441,921	195,000	①講師指導の下での表現活動 ②展覧会(日向市展と同時開催)	1,114	◆新日向市駅や周辺市街地の状況の発信 ◆市民の美術への関心の向上 ◆関係団体との連携強化
	6	映画「母へ」先行上映会	1,816,776	180,000	①山田洋次監督による舞台あいさつ ②映画「母へ」上映会	1,170	◆地域活性化・文化の高揚 ◆日向市と山田洋次監督とのパイプづくり ◆日向市のイメージアップ、情報発信
	7	第4回 技能祭り	952,134	270,000	①技能士実技公開、作品展示即売 ②子ども技能体験コーナー ③足歩行ロボット実演展示	2,710	◆参加者に対する技能・技術への理解の推進 ◆技術センターの施設の有効利用 ◆関係団体の活動状況、成果の発表
	8	第6回 ランコン航空ショーin日向			中止		
計	8		27,558,795	12,380,000		26,058	

平成19年度 日向市まちづくり支援事業実績【19年度予算額：27,000,000円】
 ●提案事業数：30 事業（-8）●採択事業数：27 事業（+2）●中止事業：2 事業（+1）
 ●総事業費合計：64,150,537円 ●補助金確定額合計：23,986,000円（-6,506,000円）
 ※（ ）は前年度比較



◆技能祭りでのコマ

様々な改善が図られた一方で、浮き彫りとなった課題もありました。ひとつは、18年度から引き続き検討している「事業の評価」に関する課題です。

19年度は、審査得点に応じた「査定率」の導入などにより、審査の透明性及び公平性を高める改善が進み

浮き彫りとなった課題

新設元年の昨年度は、7事業の企画提案が寄せられ、内6事業が採択されました。

19年度の事業の見直しの一環として、「地域づくり系事業」枠を新設しました。これは、防犯、美化活動といった地域コミュニティの醸成につながる事業を支援することにより、元気で活力ある「協働のまちづくり」を、より一層推進することを目的に見直したものです。

ある提案が減ったことが大きな要因であると考えます。

地域づくり系事業の創設

その他にも、補助金への依存度が高い事業の自立促進や、審査の透明性・公平性の向上など、解決すべき課題が見受けられます。これらを改善し、所期の目的である「元気で活力ある協働のまちづくり」をより一層推進していくことが求められています。

今後とも、総合計画及び補助金等交付制度との整合を図りながら、市民に愛され、共に歩んでいける制度を目指し、「協働のまちづくり」の重要なツールとなれるよう、事業を推進していきます。

よりよい制度を目指して

また、採択決定後の中止申請が2団体から出された点や、事業を縮小せざるを得ない団体もあったことなどを考慮すると、いかにして自主財源を確保するかが大きな懸念事項となっており、今後の支援事業の課題となっています。



◆今年度からは「非公募枠」事業となる「日向ひよっこマラソン」

上半期採択事業一覧（22 提案事業中 19 事業採択）

部門	No.	事業名	総事業費 (円)	補助金 確定額(円)	事業内容	参加者等 人数(人)	事業の効果 (企画提案団体の自己評価)
地域づくり系	1	地域で育てよう！日向っ子☆街がみんなの交流起点	600,849	318,000	①こどもまつり「遊びの広場と人形劇」 ②オセロ大会 ③餅つき大会	1,230	◆地域の活性化 ◆地域コミュニティ醸成への貢献 ◆市民交流プラザのアピール
	2	まちなかにぎわいプラス1(ワン)計画	中止				
	3	財光寺地区の犯罪防止の腕章着用運動	350,000	213,000	①防犯用具の着用(腕章・マグネット)及び啓発活動 ②防犯キャンペーン	900	◆財光寺地区の連帯感の向上 ◆安全、安心なまちづくりへの貢献 ◆通学、通学マナーの向上
	4	日豊海岸(伊勢ヶ浜等)の環境美化活動	177,111	104,000	①伊勢ヶ浜海水浴場、鶴戸ノ瀬海岸、大御神社下流木等の清掃作業 ②壮年会対抗ソフトボール大会	225	◆地域活性化、ボランティア意識向上 ◆環境美化 ◆美しい伊勢ヶ浜海水浴場のアピール
	5	第2回 花いっぱい夢街道 日知屋地区市民植栽	277,330	101,000	①花の植栽、剪定 ②県道細島線及び周辺市道へのプランターの設置	200	◆地区の活性化と地域コミュニティの育成 ◆環境美化の推進
	6	こどもを守る会 防犯・啓発事業	233,625	126,000	①安全パトロール活動 ②「よいこのやくそく」看板設置	315	◆防犯意識の啓発 ◆犯罪防止活動への貢献
イベント系及びその他の事業	7	2007第24回日向ひよっこ夏祭り	11,332,247	4,245,000	①ひよっこ語り普及活動(講習・お面作り) ②日向ひよっこ夏祭り(パレード、個人戦) ③グッズ販売	59,500	◆日向市の発展及び活性化 ◆伝統芸能の普及、継承 ◆全国への「ひよっここの街・日向」を情報発信
	8	耳川フェスタ	2,900,774	825,000	①耳川フェスタ(お船出競争、耳川大綱引き、耳川大花火ほか) ②美々津・幸徳さくら紀行	3,350	◆地域の活性化 ◆地域の伝統文化、自然遺産のPR
	9	平成19年度日向十五夜祭り	4,270,135	1,806,000	①演芸披露 ②舞踊隊、十五夜こによる総踊り ③郷土芸能披露 ④短歌・川柳コンテスト	20,200	◆日向市の活性化 ◆中心市街地商店街のPR ◆観光地のPR
	10	総合型地域スポーツクラブ(ひむかYOUゆうクラブ)	1,811,030	673,000	①スポーツ・文化教室 ②サークル活動の支援 ③指導者の育成	4,200	◆日向市民間の交流 ◆スポーツの振興 ◆健康増進
	11	第21回日向木挽唄全国大会	4,026,731	720,000	①幼、少年少女の部 ②一般男女の部	3,313	◆日向木挽唄の普及と伝承 ◆日向市の観光地、特産品のPR
	12	細島みなと祭り	2,103,946	270,000	①神輿巡行 ②東若太鼓台、南若太鼓台 ③巡視船体験航海 ④舞踊、バンド演奏等	9,000	◆みなと文化の継承 ◆地域活動の活性化 ◆漁業への関心 ◆観光資源の情報発信
	13	ひむか ありアート展 宵祭り2007	816,325	319,000	①廃油を利用したローソクの製作 ②美々津手造り紙を利用した灯笼の製作、コンテスト	2,300	◆環境保全への関心の向上 ◆地域間、世代間の交流 ◆本市のイメージアップと観光振興
	14	第20回記念 砂の造形大会	1,383,488	457,000	①砂の造形コンテスト ②南さつま市の関係団体による模範演技	1,305	◆青少年育成 ◆伊勢ヶ浜海岸のアピール ◆南さつま市との交流
	15	七夕まつり	297,767	100,000	①七夕飾りの飾り付け、展示 ②手作りおもちゃの作成 ③その他のイベント開催	2,000	◆各種団体との連携強化 ◆店舗のPR ◆商店街の活性化貢献
	16	第3回 わんぱく相撲日向場所	571,132	154,000	第3回わんぱく相撲日向場所の開催	500	◆相撲を通じた礼儀、心の大切さなどの体得 ◆他校生徒との交流
	17	日向神武お舟出祭	4,543,992	954,000	①盆踊り大会 ②歌謡ショー ③花火大会	2,300	◆伝統文化の継承 ◆市民間の交流 ◆観光資源のPR
	18	食の安全と健康生活及び地産地消と環境保全との関連性の講演活動	459,760	121,000	①講演会「21世紀の日向市をプロデュースする」 ②安全・安心の地産地消	238	◆細島の魚を利用した食の開発 ◆地産地消への取組 ◆観光資源の発信
	19	花とみどりの日向サンパーク2007 春・秋	435,500	100,000	①ハンギングバスケット講習会、展示 ②秋の寄せ植え講習会・ギャザリング展	23,300	◆お舟出の湯の利用促進 ◆景観美化 ◆全国への情報発信
計	19		36,591,742	11,606,000		134,376	



◆地域の祭りも応援！

19年度から上半期・下半期の2段階の募集となった支援事業に、上半期22事業、下半期8事業、合計30事業の企画提案が寄せられました。その内、18年度実績を超える27事業が採択され、支援事業が市民へ浸透したことが伺える結果となりました。

補助金採択額が18年度を下回りましたが、これは、18年度に採択された事業の内、委託性の強い事業が19年度から「非公募枠」に移行したことによるものです。

提案事業数も減少する結果となりましたが、これは、不採択事業の減少にも表れているように、しっかりと計画性のある事業が増え、計画に無理

元気で活力ある「協働のまちづくり」を推進することを目的に、平成18年4月に創設された「市民まちづくり支援事業」。

3月31日までに、採択された27事業の内、25事業（2事業は中止）が完了し、創設2年目を終えました。ここでは、2年目の成果と課題を検証し、事業実績を公表します。

平成19年度事業実績を公表します



◆ 支援事業では、市内全チームの指導者が集結し、子どもたちと共にプレゼンテーションを実施！

『ソフトボールの街・日向市』を九州全域にアピールしたい!!』を合言葉に、平成20年度上半期に提案された「第1回日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会」。審査員からの高い評価の下で採択され、8月の開催が決定しました。

今回の「協働へのアプローチ」では、新たな取組に挑戦する「日向お舟出九州親善ソフトボール大会実行委員会」を、事業を企画するまでの経緯や、実行委員会設立までの流れ、代表者のインタビューを交えつつ、「協働のアプローチ・番外編」として紹介します。

市ソフトボール協会と市内9チームの指導者、父母の会が実行委員となり、夏の大会開催に向けて、協議を開始しました。

大会開催にあたり、特に留意すべき点として、子どもたちの安全管理の問題が上がり、その点が最も長く協議されました。試合中のケガはもちろんのこと、夏の開催ということもあり、暑さ対策についても、意見が交換されました。

協議の結果、実行委員だけでなく、市内9チームの保護者の全面協力の下、管理を徹底することが決定し、協議は次の段階へと進んでいきました。

『日向市は、昭和54年宮崎国体の際にソフトボール会場となり、以後、「ソフトボールの街」として各種の大きな大会を開催してきたが、一般・高校生の大会が多く、小学生の九州大会レベルの大会が行われていない』この長年の課題を解消すべく、今年2月に、日向お舟出九州少年親善ソフトボール実行委員会(以下、「実行委員会」)は設立されました。

日向に小学生の大会を！



◆子どもたちの「記憶」に残る、素晴らしい大会を目指します！(写真は、昨年のブロック大会の「コマ」)

大会の運営方式の大枠が決まってくると、「まちづくり」としての大会の意義が協議されました。

大会が宿泊を伴う開催であること、県外からの参加者も多く参加することに注目し、日向市のPR的要素を含んだ大会を目指すことを決定しました。

まずは、大会申込前のPRとして、観光協会の協賛の下、観光バ

大会を総合的PRの場に！

実行委員会 事務局長(塩見ファイターズ監督) 岩原 德行 さん



8月2日・3日の大会開催まで2ヶ月を切り、実行委員会の活動にも力が入ります。限られた時間を有効に活用できるよう、委員各自がアイデアを持ち寄る形での議論を重ねてきました。

事前の事務的作業もほぼ完了し、受け入れ態勢も整った現在は、九州各県からの参加チームを募集している段階で、応募チームも続々と集まっています。

第1回目の大会開催ですので、試合を通しての「日向の情報発信」はもちろんですが、試合以外の部分でも広くPRを行い、関係者全員の力で大会を成功させたいと思います！

平成20年度上半期 日向市市民まちづくり支援事業

創設3年目を迎えた「日向市市民まちづくり支援事業」。今年度から、政策的要素の強い3事業を非公募枠に移行し、補助金の上限額や補助対象経費の見直しを行うなど、更なる発展を目指した改善を行いました。ここでは、平成20年度上半期に採択された事業を、一覧表と共に紹介します。

部門	No.	団体名	事業名	総事業費(円)	補助金採択額(円)	事業内容
地域づくり系	1	特定非営利活動法人こども遊センター	地域で育てよう！日向っ子☆街がみんなの交流起点	700,000	473,000	①おもい流し&街なかクリーン作戦 ②カメラマン・版画・郷土料理・生け花教室・陶芸教室 ③こどもカフェ ④オセロ大会
	2	堀一方壮年会	日豊海岸(伊勢ヶ浜等)の環境美化活動	210,000	157,000	①伊勢ヶ浜海水浴場、大御神社下の清掃作業 ②防備林の下駄作業(はまぐりむすび付近) ③臨戸の瀬海岸の清掃及び草刈りと鉄釘等の選定
イベント系及びその他の事業	3	社団法人日向青年会議所	第4回わんぱく相撲日向場所	688,000	154,000	わんぱく相撲日向場所の開催(全国大会予選会)
	4	特定非営利活動法人新生ひむか公社	観光による日向市開発のための講演会活動	606,000	121,000	発想豊かな民間主導型の「日向市観光開発」のための講演会
	5	宮崎県民謡会日向支部日向木挽唄全国大会実行委員会	第22回日向木挽唄全国大会	3,998,416	594,000	日向木挽唄全国大会の開催
	6	特定非営利活動法人リバーシブル日向	「キャプテン牧水」の耳川探検隊	1,422,500	484,000	①活動、学習プログラム構築及び指導者育成 ②「キャプテン牧水」の耳川探検隊(全5回)
	7	つばみ会	七夕まつり	400,000	180,000	①七夕飾りの飾り付け、展示 ②手作りおもちゃの作成 ③その他のイベント開催
	8	日向十五夜祭り奉賛会	平成20年度日向十五夜祭り	4,000,000	1,810,000	①市内内外の団体・個人による演芸披露 ②舞踊隊、十五夜つばねによる十五夜総踊り ③地場産品販売ほか
	9	あくがれて牧水実行委員会	つつじ満開！牧水の里！「来たれ！！なりきり旅人」	500,000	250,000	日向市が誇る郷土の歌人・若山牧水になりきり、ゆかりの場所の散策や短歌作成などを行う体験型ツアーの開催
	10	日向(ひむか)あかりアート展実行委員会	ひむか あかりアート展 宵祭り2008	800,000	223,000	①薬油ローソクと美々津和紙を使った灯籠コンテスト ②日向市内内外の文化芸術・音楽の祭典
	11	ひむかYOUゆうクラブ	総合型地域スポーツクラブ	2,660,000	780,000	①スポーツや生涯学習に関する教室・イベントの開催、サークル活動の支援 ②リーダー・指導者の育成
	12	日向市盆踊り保存会連合会	日向神武お舟出祭	3,000,000	585,000	①お舟出セレモニー ②花火 ③地域の物産販売等
	13	日向お倉ヶ浜のりのりカップ実行委員会	第2回日向市長杯のりのりカップinお倉ヶ浜	1,716,152	550,000	①サーフィン大会の開催 ②ビーチイベントの開催 ③おもてなし企画の実施
	14	日向市南部振興会	耳川フェスタ	3,110,000	1,000,000	①夜くぐり、神武お舟出競争、耳川大綱引き ②ふるさと発見さくく紀行 ③少子高齢化の中で生きがいを探る講演会
計	15	細島みなと祭奉賛会	細島みなと祭り	2,760,000	500,000	①神輿巡行、神輿海上渡御、東若・南若太鼓台 ②太鼓演奏、バンド演奏などの各種イベント ③巡視船体験航海
	16	日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会実行委員会	第1回日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会	1,480,000	705,000	①ソフトボール大会の開催 ②お倉ヶ浜の清掃作業 ③市内観光案内
計	16			28,051,068	8,566,000	



◆牧水に扮してのプレゼンテーション

今年度の大きな特徴のひとつに、耳川を含む東郷町域からの提案事業が挙げられます。4月に開催された「来たれ!!なりきり旅人」や、「キャプテン牧水の耳川探検隊」という2つの新規事業が提案されたことは、「協働のまちづくり」及び支援事業が、広く市民の皆さんに認識されてきている表れではないでしょうか。

牧水を生かしたまちづくり

市民主体の13名の審査員からなる審査会での公開プレゼンテーション、書類審査等の厳正な選考を経て、応募のあった16事業全てが採択(補助額856万6千円)されました。

市民主体の13名の審査員からなる審査会での公開プレゼンテーション、書類審査等の厳正な選考を経て、応募のあった16事業全てが採択(補助額856万6千円)されました。

3年目の飛躍を目指して



◆子どもたちの熱意あふれるアピール！

上記の2事業のほかにも、20年度上半期は、「第1回日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会」という、新たな内容の事業が提案されました。審査会での公開プレゼンテーションでは、市内のスポーツ少年団ソフトボールチームのキャプテンと指導者が集まり、その熱い思いをアピールし、その結果、非常に高い評価での採択が決定しました。

これらの事業例をみても、「協働のまちづくり」が、市民の皆さんに理解され、浸透してきたことが見て取れます。

7月からは、今年度下半期の募集が始まります。募集の詳細は、裏表紙の下段に記載していますので、是非ご覧ください。また、「協働のまちづくり」ホームページでもご覧いただけますので、ご一読ください。

市民の皆さんの新たな取組をお待ちしています。



ひまわり日記

～市民協働課からのお知らせ～

No.	団体名	事業名	総事業費(円)	助成額(円)	事業内容	目的	参加者数(人)
1	まちなかハロウィン実行委員会	まちなかハロウィン2007	460,990	100,000	仮装コンテスト、中学校吹奏楽部演奏、お化けツアー、フリーマーケットなど	参加者に「まちづくり」を体験してもらい、その重要性を認識し、理解してもらうきっかけ作り。	3,000
2	ひむか排泄ケア学習会	排泄ケア基礎講座in日向	289,577	90,000	講義、グループワーク、実技指導(骨盤底筋体操、排泄(オムツ)体験など)	排泄ケアに関する様々な体験を通して、前向きに、具体的に、排泄ケアと向き合ってもらえるようになる。	26
3	日向六ヶ所村ラブソング自主上映実行委員会	LOVE ROKKASHO and more...	365,436	100,000	映画上映会、エコ・フリーマーケット、トークライブなど	映画の上映を通して、地域での過疎化、環境問題、省エネルギーへの取組に関心を持ってもらう。	300
4	社団法人 日向青年会議所	心ゆたかに生きる講演会	405,592	90,000	林覚乗氏(福岡県・南蔵院住職)による講演会	市民が「思いやりのある人づくり・まちづくり」を考え、参加者が「いのち」について考えるきっかけを作る。	450
計	4団体	4事業	1,521,595	380,000			3,776

平成19年度ひまわり基金事業 市民活動助成事業の実績を報告します！

平成19年度7月に、従来の「学習活動支援事業」を発展的に変更する形で誕生した「ひまわり基金・市民活動助成事業」。初年度は、5団体からの申請があり、同事業協議会事務局での厳正な審査の結果、4事業が採択(総助成額38万円)されました。

「まちなかハロウィン2007」では、日向市駅周辺で独創的なイベントを開催し、3000人の参加者を集めました。

「排泄ケア基礎講座in日向」では、体験型の講座を通して、排泄ケアに対する理解を深めました。「六ヶ所村ラブソング自主上映会」では、映画の上映を通して、環境に関わる様々な事柄について、参加者に訴えかけました。

「心ゆたかに生きる講演会」では、講師の体験談を交えた講演を聞くことで、参加者に「いのち」について考えるきっかけづくりの場を提供しました。

まちづくり、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対して広く助成を行う同事業ですが、その認知度に関してはまだまだ高くないと言えない現状です。今年度は、より市民の皆さんに事業を知っていただけるよう、周知に努めたいと思います。



◆花いっぱい運動、芸術活動を通してのまちづくり活動、環境美化活動など、様々な取組が助成の対象となっています。

ひまわり基金事業では、公益的な市民活動団体を取り組む、まちづくり(環境美化、防犯、防災、住民間交流など)、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対する助成を行っています。

助成の額は、事業を実施するために必要な助成対象経費の2分の1以内とし、事務局にて審査の上、1事業あたり10万円を限度として交付します。

申請の要件は、①公益性・公開性のある事業であること、②市内で実施されること、③市から同様の助成・補助を受けていないこと、④1団体、当該年度1回限りとなっています。なお、事業実施1か月前までに申請を行ってください。

詳しくは、「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください。

平成20年度の 市民活動助成事業を 募集しています！

エディタース



▼今年度第1回目の情報紙編集でした。継続して記事を書いていると、市内における「協働の前進」を実感します。▼第5号では、実績報告がメインとなっていますが、これを見た市民活動団体の皆さんが、「私も！」と企画を提案してもらえればと思います。執筆しました。(し)

編集後記

『協働のまちづくり』ホームページ

『協働のまちづくり』ホームページが完成しました！協働に関することから、市民協働課の情報まで、内容満載です。是非、一度ご覧ください！！



URL : <http://hpm.city.hyuga.miyazaki.jp/kyoudou/>



協働の取組紹介

これが私たちの協働です！ 第2回 建和会青年部編

「若い力を地域に！行動で示すそれぞれの自覚」

協働に取り組む企業や自治会などを市内にPRすべく、前回号からスタートした『これが私たちの協働です！』。市民主体の協働の取組を紹介することで、これからの「協働のまちづくり」の参考にしていただくことを目的としています。第2回は、市内の建設業の青年有志で結成されている「建和会青年部」の取組を紹介します。昨年の台風災害の復旧作業の舞台裏で、建和会青年部が取り組んだ活動を中心に、代表者の話を交えながらお伝えします。



活動紹介

お倉ヶ浜・赤岩川清掃活動

昨年の台風災害により、市内各地の海岸、河口にたくさんのゴミ、流木が山積みしました。撤去に重機を必要とする大きなものも少なくなく、その対応に苦慮する地域も多く存在しました。

そのような状況の中、いち早く立ち上がったのが建和会青年部でした。会員が自主的に話し合い、それぞれの会社から重機を持ち寄って、お倉ヶ浜や赤岩川河口に山積みした流木やゴミを撤去しました。早朝から夜遅くにかけての作業で、多くのゴミ・流木を撤去しました。

二次災害の危険性もあるこれらの作業を建和会青年部がボランティアで行うのには理由があります。それは、建設業界への風当たりが厳しい今の時代だからこそ、業界の若い世代がしっかりと自覚し、自分たちのことを広く認知してもらいたいという思いからです。そのために「行動」で情報発信していきたいという思いが、彼らを動かす原動力となっているのです。

昨年から、東郷町域の有志も参加し、発展を続ける「建和会青年部」。企業の枠を越えた地域貢献活動に注目が集まります。

建和会青年部

部長

内山雅仁さん

建和会青年部では、これまでも様々なボランティア活動を通して、自分たちの業界のことを周知してきました。

現在、建設業界が置かれている現状は、非常に厳しいものです。こんな時代だからこそ、若い力が中心となって、地域に貢献したい！そして、それらの活動を通して、私たちの業界を理解していただき、評価してもらいたい！その思いで、活動しています。

このページで紹介してもらった活動のほかにも、第29回日向市美術展覧会の会場設営及び作品展示ボランティアなど、幅広い活動を行っています。ボランティアの要請等があれば、前向きに検討いたします。是非一度ご相談ください。【連絡先：52-6285 内山】



◆ 建和会青年部

市内の建設業22社の青年有志により結成された活動団体で、清掃活動に留まらず、様々なボランティア活動を実施。

【その他の活動PR欄】

建和会青年部メンバーが中心となって取り組んでいる活動のひとつに、「こどもを守る会」の活動があります。防犯パトロールや各種イベント、看板設置等を通して、子どもへの犯罪の撲滅を目指す取組で、19年度の支援事業で企画・提案され、誕生した事業です。(写真は看板設置風景)





特定非営利活動法人

リバーシフル日向

所在地 日向市大字幸協 939 番地 1

代表 黒木 和政 さん

連絡先 58-1032 (事務局・秋實さん)

リバーシフル日向は、海川に親しみ、触れ合う水辺の環境整備を推進するとともに、日向の海川の歴史、文化及び自然を後世に継承することを目的として、今年の4月8日に設立した特定非営利活動法人（NPO法人）です。

主な活動として、「キャプテン牧水の耳川探検隊」事業の実施をはじめ、全国一斉川の水質調査参加、櫓漕ぎ和船乗船体験、櫓漕ぎ体験、耳川流域資源活用推進事業、耳川の環境保全活動を行っています。

「キャプテン牧水の耳川探検隊」では、市内の小中学生を対象に、耳川流域の東郷町から幸協の間で、カヌーを使った1泊2日のリバー・ツーリングを行います。途中、水質検査や自然観察、歴史・文化学習などを行い、野営地では流域の方たちと交流します。



水質調査



櫓漕ぎ和船



カヌー体験

日向市民まちづくり支援事業 下半期実施事業募集スタート!!

市民主体による元気で活力あるまちづくりを推進するため、市民の皆さんが知恵を出し合い、地域の特色を生かして自ら企画・運営するまちづくり事業の下半期分（平成20年10月～平成21年3月実施）を広く市民活動団体等から募集します。

市民まちづくり支援事業審査会で採択された事業に対して、補助金を交付します。

●応募できる団体

- (1) 市内に活動拠点を有する非営利活動団体（NPO法人・市民活動団体・ボランティアグループ・自治会等）であること。
- (2) 5人以上の会員で組織していること。
- (3) 組織の運営に関する規約等があること。
- (4) 宗教活動や政治活動を行う団体ではないこと。
- (5) 暴力団の構成員が、団体の役員となっていないこと。

●募集事業の内容

- (1) 市又は市内特定地域（以下「市・地域」という。）の活性化又はコミュニティの醸成につながる事業
- (2) 市・地域の特色を生かした事業
- (3) 市・地域のイメージアップや情報発信につながる事業

●事業の部門及び補助率、補助金交付上限額

- (1) 地域づくり系事業（特定地域での環境美化、防犯、助け合い（共助）等コミュニティの活性化及び醸成につながる事業）
補助率 3/4以内 限度額 50万円
- (2) イベント系及びその他の事業（全市対象の祭り、スポーツ大会、講演会、文化芸術の発表会、展覧会等のイベント）
補助率 1/2以内 限度額 500万円

●提出書類

- ①事業企画提案書 ②事業計画書 ③事業収支予算書
- ④事業提案団体概要書 ⑤団体の運営に関する規約等
- ⑥会員名簿 ⑦前年度事業収支決算書（活動実績のある団体のみ）

●応募期限

平成20年7月31日（木）

●提出及び問い合わせ先

事業や募集に関して不明な点がございましたら、お気軽に市民協働課（☎52-2111 内線2853）までお問い合わせください。

また、市民まちづくり支援事業補助金交付要綱（様式含む）、同募集要項並びに同審査会審査要領の全文を「協働のまちづくり」ホームページに掲載していますのでご覧ください。



地域の特色を生かした事業や、地域の活性化につながる事業を募集しています!!

詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください!

日向市 協働のまちづくり

検索

発行／平成20年7月1日

日向市生活環境部 市民協働課
TEL 52-2111 (内線2853)

〒883-8555 日向市本町10番5号
FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース Vol.5